



七松小学校 学校だより

令和2年度
3月号
尼崎市立七松小学校
校長 江上佳宏

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



心豊かでたくましく 学び続ける子どもたち ～主体的な学びをめざす～

あと1ヶ月で令和2年度が終わります。「心豊かでたくましく 学び続ける子どもの育成」を学校教育目標とし、七松小学校の教育活動を行ってまいりました。

七松小学校に着任して、この1年間、七松小学校の子どもたちには本当に驚かされることばかりでした。私だけではありません。学識経験者として3回、指導助言に来ていただいている大学の教授の先生も同じ感想を言われています。

2月9日(火)5校時、3年1組の研究授業を見ていただくため、校長室から3階の3年生の教室までご案内しました。普通は、どこの学校でも、5校時の最初と言えば、掃除の片付けの音が聞こえたり、勉強の準備をする声や音が聞こえたりしてきます。今までの学校がそうだったのです。

ところが、2階からも3階からも、物音一つしないのです。大学の先生が、いつもとても静かですねと言っておられました。掃除が終わったら、すぐにチャレンジタイムに取り組む。そしてそのまま、5校時の授業へ。気持ちの切り替えが素晴らしい!どの子どもも、学習規律・学習習慣が驚くほど身につけています。普通、他市の学校であれば、給食・昼休み、掃除、そして5校時となります。掃除も、学校の敷地内をそれぞれ班ごとにするので、学年や学級によっては、子どもが全員そろってまで、連絡帳を書いたり、プリントや提出物を配ったりする姿は珍しくありません。また、1クラス、約35名。5校時、6校時の授業になると、友だちとしゃべったり、手遊びをしたりするなど、集中力が切れてしまう子どもも何人かはいるものです。

驚かされるのは、どのクラスを見ていても、ちょっとしんどいかな?と思っても、この七松小学校の子どもは、学習に向き合っているのです。特に木曜日の放課後学習は、活気が感じられます。学習規律、学習習慣だけではありません。当然、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につけています。「主体的に学ぶ力」が育成されているのです。そこが今まで勤務した学校との違いです。子どもたちには、今後一層、成就感、達成感、学習の楽しさを味わわせ、主体的な学びを身につけてほしいと願っています。

1年を振り返ると、新型コロナウイルス対応に尽きます。学校行事は、中止したものが多く、5年生自然学校も、6年生修学旅行も、規模縮小で宿泊ができませんでした。また、教室での授業参観・オープンスクールは、密を避けるため実施できませんでした。

3月19日(金)の卒業証書授与式では、感染防止の徹底はもちろんのこと、6年生児童に小学校生活最後の授業として、少しでも感動があるものにしたいと考えます。

1年生～5年生も新しい学年で良いスタートが切れるよう、残りあと1ヶ月、がんばってほしいと願っています。

ご家庭や地域に於かれましては、新型コロナウイルス感染防止への対応にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

